

郷育カレッジ 受講生募集

郷育カレッジでは、地域の「ひと、もの、こと」を題材に、ふるさと、健康福祉、環境、生きがいなどさまざまな分野の講座を開催しています。

開講期間 令和2年3月まで

対象 小学生以上で市内に在住、通勤、通学している人
 入学金 初年度のみ500円
 年会費 大人1,000円、高校生以下300円
 ※別途費用が必要な講座もあります

定員に達していない講座などは、年度途中からの申し込みも可能です。11月開催の講座で、まだ申し込み可能な講座を紹介します。

11/11 おしゃべりカフェ②
 13:30~15:30 宮司コミュニティセンター
 おしゃべりカフェとは、カレッジ生の広場です。自由なテーマで聴いて、話して、お茶を飲んで、みんなで楽しくおしゃべりしましょう。あっという間に物知りになれます。

11/26 食事を通して見える世界
 14:00~15:30 市中央公民館
 何気ない日頃の食事を見つめ直してみませんか。「いのち」に関するさまざまな物事を、伝承することについて体験談をもとにした話です。
 詳しくは、市公式ホームページの郷育カレッジ講座一覧や公共施設に置いてある冊子をご覧ください。

応援しよう! 柔道ルーマニア チーム

福津市と古賀市は柔道ルーマニアチームの東京2020オリンピック事前キャンプ地です。

問い合わせ 市郷育推進課 ☎62・5079



▲後列左から、大石監督、(3人目)シミオネスク ヴラデュ選手、(4人目)ライク アレクサンドル選手
 前列左から、ウングレアーノ モニカ選手、キツウアンドレア選手、オハイ ロレダーナ選手

オリンピック出場を目指して世界柔道選手権に出場
 8月に5人の選手が、調整キャンプを行い、その後、世界柔道選手権に出場しました。会場はオリンピック会場でもある日本武道館でした。チームを率いる大石監督によると、この5選手が実質的にオリンピック出場を目指す選手となること。同大会での入賞はなりませんでしたが、本番さながらの雰囲気味わった選手たちの今後の活躍を期待せずにはられません。

福間中学校の2人のアスリート
 「最高のタイミングで踏み切ると、板のバーンという音が会場に響く。そんな時にベスト記録がよく出る」と、走り幅跳びの選手ならではの感覚を教えてくださいましたのは、福間中学校2年生の嶋田直弥さん。小学生の時から、県内にライバルがいなかったという嶋田さんは、6年生のときに勝てるだろうと油断した大会で、まさかの予選敗退。この経験から、地道な努力の積み重ねの大切さを知り、動画を見て研究しているそうです。今年のジュニアオリンピックにも出場した嶋田さんの夢は、日本選手権に出場することだそうです。



▲長身を生かした跳躍をする嶋田さん



▲100m走 11秒台の記録を持つ濱畑さん

時から優勝を争ってきた相手には負けられない。でも競技によって出会えた良い理解者」と微笑みます。「1位でゴールしたときにタイムを認める瞬間が楽しい」と爽やかに語る濱畑さんの今後の走りに期待です。
 福間中学校陸上部を支える矢野和宏先生は「生徒一人一人に良さがある。それを自然な形で引き出せるように、寄り添っていきたい」と話して

くれました。
 選手が日々努力しているスポーツを「する」こと。動画で選手を「みる」こと。矢野先生の「ささえる」気持ち。競技を通してライバルと「つながる」こと。4月にスタートした市スポーツ推進計画では、この4つを柱とし、スポーツによるまちの発展を目指し、市ではこれらに関する事業や仕組みづくりを行っていきます。



私たちのふるさと福津。この福津という「郷」で学び、「育」つことができれば。そして、地域を育てていけたら。皆さんも一緒に「郷育」に取り組んでみませんか。

問い合わせ 市郷育推進課 ☎62・5078

8月の囲碁・将棋会 上位者のみ掲載、敬称略

福津市将棋同好会

	1位	2位
A	北原 秀誠	滝口 純一
B	中橋 一夫	佐野 五郎
C	徳丸 敬治	松田 滝男
D	川上四男美	井上 安高
E	木道 健一	三村喜久治

連絡先 村上良明 ☎080・3973・8932

福津市実年囲碁会

	1位	2位
1	吉田 哲雄	有山 伸司
2	箱島 孝	的野 信行
3	林田 健介	柴田 繁男
4	木植 宏	山口 忠男
5	宗平 正	城野 正雄
6	牧田 英昭	白石 尚史

連絡先 満生忠雄 ☎43・2420

福津市囲碁会

	1位	2位
1	尾崎 銀二	岩谷 巖
2	吉田 幸博	廣瀬 博喜
3	林田 健介	藤井 修
4	木植 宏	小田 邦彦
5	柴田 広	中島 賢明
6	内田 義徳	島崎 一彦

連絡先 井本雅文 ☎090・9796・1099

津屋崎囲碁同好会

	1位	2位
A	魚住 洋二	猪俣 征雄
B	石松 良治	藤井 修
C	永島 和美	中嶋 孚
D	中村 海渡	佐藤 亘弘

連絡先 永島和美 ☎52・5610

地域の日



スポーツを ツールに 地域づくり

少年野球チーム
 東福間SSE監督
 落石靖さん

スポーツで地域づくりという考えは、昨今始まったものではないかもしれません。落石さんは、44年前に子どもたちの育成を目指し、東福間SSEを立ち上げました。「地域にチームがあることで、子どもたちがスポーツに親しみ、人と人とのつながりが生まれる」と落石さんは言います。地域ネットワークの形成を担ってきた落石さんは、77歳になった今も現役です。

問い合わせ 市郷育推進課 ☎62・5079



【俳句】
 一陣の風夏空へ真つすぐに
 陶風鈴オカノオカんと夕迎かな
 ほろ酔いの頬なづる風宿浴衣

川本 幸重
 佐々木 和彦

【短歌】
 樹齢五百年の日吉神社の銀杏の葉
 黄に変わるをしばし仰ぎぬ
 女性でも土俵にあがる時がくる
 神も男と女居りにけり

【俳句】
 一陣の風夏空へ真つすぐに
 陶風鈴オカノオカんと夕迎かな
 ほろ酔いの頬なづる風宿浴衣

【俳句】
 一陣の風夏空へ真つすぐに
 陶風鈴オカノオカんと夕迎かな
 ほろ酔いの頬なづる風宿浴衣

心の歌
 市内の愛好家の作品です。作品は数カ月に1度募集します。
 募集期間 10月16日(水)～11月15日(金)の消印有効 ※募集期間以外の応募は無効
 対象 市内在住の人 ※サークルなどの団体からの一括応募は不可。1人1枚、期間ごとに1首に限る。必要事項の記入漏れ、応募方法以外の方法による応募は無効
 応募方法 官製ハガキに住所、氏名、電話番号、俳句・川柳・短歌の別、作品1首を記入し郵送。作品には、常用漢字を使い、楷書で記入。常用漢字以外の漢字を使うときは、必ず振り仮名を振ってください。掲載月などの指定はできません
 問い合わせ、送付先 〒811-3224 福津市手光2222番地 福津市中央公民館 ☎43・2100